

9月 園だより

日中はまだ残暑が残りますが、日が暮れる時間も少しずつ早まり、朝夕はなんとなく気温も下がってきたように感じます。緑色をした栗のイガもだんだんと大きく育っていて、秋が近づいていることに気づかされます。

今年の夏も猛暑日が長く続きました。40℃近い気温と強い日差しに体力を奪われ、体調を崩した方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しっかり寝てしっかり食べて、早めに体力を戻したいですね。

天候も不安定で、突然、ゲリラ豪雨の激しい雨や雷に襲われたり、ここ数年の夏はなんだか昔と違います。ふと私が小さかった頃の夏はどんなだったかしらと考えてしまいました。だいが昔の話ですが、あの頃は暑すぎて外に出られないということはなかった気がします。

そして毎年、夏を超えると子どもたちが大きく成長したことを感じます。秋には運動会や遠足もあります。お散歩にもたくさん行きます。子どもたちと一緒に、小さな秋を見つけながら季節の変化を楽しみたいと思います。

「平和を作り出す人は幸いである。」 (マタイ 5 章 9 節)

先日ホールで幼児クラスの体操を見学しました。

まずはれんげグループ(年少)さんからスタート。体操講師の影山先生のお話を聞いて、お手本をしっかり見ています。時々、気持ちが違うところに行ったり、ちょっとふざけてしまったりはするけれど(こんなことは当たり前)とにかく何をやっても楽しそうでもとても可愛いれんげさんです。

続いてすみれグループ(年中)さんたちがスタート。体操の内容も少しレベルアップします。ちょっと難しそうなことには頑張ってみたい気持ちと、自信がなくてやりたくない気持ちとの狭間で迷ったり、逆にふざける姿になったりすることもあります(これも心の育ちの一面ですね)・・・頑張っているお友だちの姿を見たり、先生たちの声掛けで安心して挑戦していました。

最後はいちょうグループ(年長)さん。ホールに入ってくる姿も自信に満ちていてやっぱり大きく見えます。

体操の内容はさらにレベルアップしていきます。一人ひとりでポーズをとる体操もありますが、二人一組で協力して作るポーズ(組体操)も増えます。最初はうまくポーズが取れなくても、二人でお互いに頑張っているようになっていきました。さすがです！この頃はお友だちと協力し合う楽しさや嬉しさ、仲間意識が育まれる時期でもあります。それでも、仲良しのお友だちだからいつも仲良しなわけではありません。仲良くするのだから大変な時もあるんです。意見が食い違ったり、共感しあえないとき、子どもたちはいろいろな行動をとります。それでもお互いに思いをぶつけあい、相手の思いを知り、自分の思いも表現し、そして仲良く遊べた時は本当に楽しいのです。きっとこの喜びが平和に繋がる根っこになっていくのでしょうか。日々の何気ない出来事に蒔かれている平和の種を大切にしていきたいと思います。体操の様子は10月の運動会でも見ていただく予定ですので、楽しみにしてください。



園庭で色水遊び



総合遊具の上から・・・



カミキリムシがいたよ



砂場で・・・♪